

2014年2月20日
発行：1年5組担任 西田光久

学級通信

いじめはいらない

道徳の時間に、「いじめ」について考えました。

「いじめ」の構造について考え、「いじめられた経験を持つ人」・「いじめに加わっていた人」・「いじめを見ながら何もできなかった人」・「みんなでいじめに立ち向かった人」からのメッセージを読みました。

感想を一部紹介します。

- ・ 体の特徴など、自分ではどうしようもない部分もあるのに、なんでみんなはそれを理解しようとしなかったのかと思いました。
- ・ 正直、自分もここにあたるのでこの気持ちは分かる気がするけど、それではいけないと思います。少し勇気を奮い起こして注意できたらいいと思います
- ・ 味方が一人でもいると、その人を助けられるかもしれないから、普段そういう友達関係を作ろうと思いました
- ・ いじめが原因で、卒業以来、同級会を開いていないということが印象に残りました。いじめは、ずっと心の中で苦しまなきゃいけないものだと、前以上に感じました
- ・ 相談できただけですごいと思った
- ・ 人間は助け合うのが一番なんだと思いました
- ・ クラス一丸となっていじめをなくそうとする姿勢が素晴らしいなと思いました。

いじめをなくすためにできること・・・

- ・ 注意しあうことが大切だと思けど、普段からしっかりと生活をするのも大切だと思った。
- ・ 大人が入ってやめさせるより、子ども達で解決した方がいいと思う。子ども達が解決しやすい環境を作ることが、大人の役目なんじゃないか。
- ・ いじめは少しのトラブルですぐにおきるから、トラブルがおきないように気を付ける。
- ・ いじめを理解し、きちんと自分にも関係があることをわかっておく。
- ・ ケンカからなくす
- ・ 悪口を言わない
- ・ 他の人に流されないこと
- ・ 人間関係を深める

あなたの周りはどうですか？

なかには、「クルナ！」などの言われたくない言葉を投げつけられた経験を持っている人もいます。あるいは、「コズカレル」など、実際に手を出された経験を持っている人もいます。

気づいていないだけかも・・・？

気づいていても・・・

「遊びのつもりで・・・」

なんてことはありませんか？

この学習の中でも、クラスビーイングを作る過程でも、みんなしっかりと考え、意見を出しあってきました。その思いをもう一度振り返り、実践してください。

時には勇気を必要とすることもあるかもしれませんが、でもそこは、みんなのため、「居心地のよいクラス」にするため、頑張りましょう!!